うつして、とける

池の水が鏡みたいに空の蒼の色を真似てる

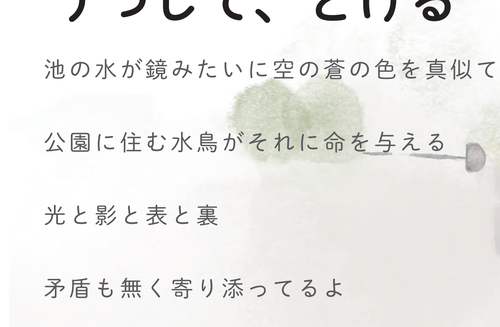
公園に住む水鳥がそれに命を与える

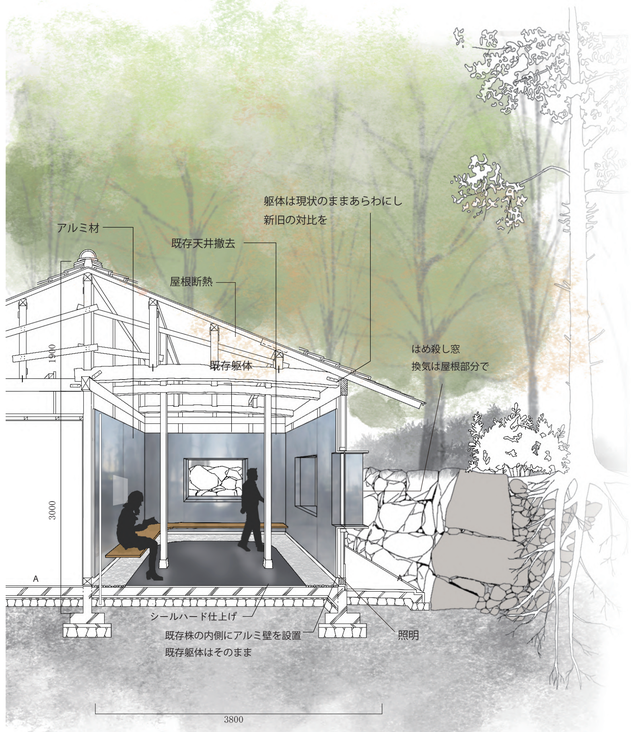
光と影と表と裏

矛盾も無く寄り添ってるよ

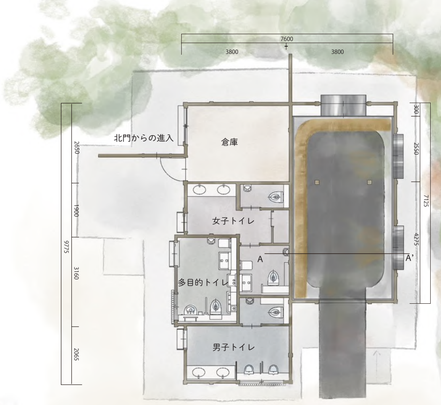
私達がこんな風であれたら…

（Bank Band with Salyu：「to U」より抜粋





A＝A' 断面図 S＝1/50



屋外・屋内で床材を統一

登り道道を抜けると景色を映す
床によるいざない

平面図 S＝1/150

















01 三景園の新たな顔となる場に

- 流れの中の顔・入り口としての顔 -

三景園は、山・里・海という三つの風景を持ち、四季や時間によってその表情を変え続ける庭園です。花まつりの華やぎともみじまつりの静けさ、朝の光と夕暮れの陰影。三景園はもとより、意図的に**「多くの顔」**を見せるようにつくられています。

一方、対象となる北門トイレは、庭園の景観を守るという趣旨から、外観に大きな**変更を加えることができません。**私たちはこの制約を、庭園の性質そのものと重ね合わせました。**外からは変わらない一つの顔を保ちながら、内側にもう一つの顔を持つ**ことは、三景園という庭園のあり方と何ら矛盾しないのではないか。これが本提案の出発点です。



精算表		
直接工事費	解体工事費	3,000,000 円
	建築工事費	25,500,000 円
	電気設備費	4,000,000 円
	機械設備工事費	8,000,000 円
	現場管理費	4,500,000 円
	小計	45,000,000 円
	消費税	4,500,000 円
	合計	49,500,000 円

02 三景園からデザインコードを取得

三景園を歩きながら、その魅力を支える**手法を三つに整理**しました。



反射

潮見亭をはじめとする水辺の建築や池の水面が、周囲の木々や空を映し込み、実際の風景を超えて世界を拡張させながら、全体の雰囲気をやわらかく融和させています。

切り取り

木々や石組み、灯籠といった人工物の間から、周囲の景色がのぞきます。すべてを見せるのではなく、切り取られた景色として発見する体験です。

借景

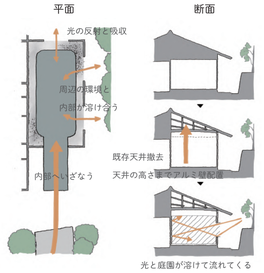
三景園は園内の風景だけでなく、周囲の山々や、さらには広島空港の眺めまでも一つの風景として取り込んでいます。

03 壁・床がうつし、解けゆく庭園

本設計では、周囲の動線・自然・人の流れを建物の内部へ取り込み、**それぞれの要素が溶け合う融和した空間**をつくることを目指します。

その中心となるのが、**建物の中に挿入する金属の箱**です。周囲とは異質な素材であるこの箱が、外の景色や人々の動きを映し出し、新たな要素として空間に加わります。さらに、箱から反射した光を受け止める床と、人々を柔らかく迎え入れる**木のベンチ**が組み合わさります。

これらが重なり合うことで、**自然・光・人々が空間の中で混ざり合い、安らぎのある居場所**が生まれます。



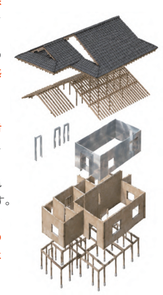
04 設計手法：最小の操作で改修を

既存家屋に金属の箱を挿入：ローコストに配慮

休憩スペースにおいて、私たちが行う操作は**最小限**です。最小の操作によって、**最大の効果**を得ることを設計の原則としました。

まず、天井を取り払い、既存の小屋組と土壁をそのまま現します。長い年月を経た**木の骨組みと土の質感を、あえて隠さずに空間の背景**とします。

その中に、かつての天井高さに合わせて、**アルミ材でつくられた一つのボックス**を挿入します。この箱に穿たれた開口（既存の三つの窓と一つの入口）には、ステンレスの枠をはめ込みます。この枠が、周囲の風景を切り取り、映し込む**「銀の額縁」**として機能します。既存建物に必要最低限しか手を付けないことで**コストを削減**します。**外観に一切手を加えることなく、この一つの挿入**によって、来園者が体験する**内部の風景は一変**します。



05 誘いのデザイン

外観には極力手を加えず、既存の佇まいを残しながら改修を行います。その一方で、**人を内部へと引き込む仕掛け**として、**開口部の枠にアルミ**を用います。周囲の風景を映し込むアルミのフレームが、**外と内をつなぎ、庭園の景色を建築内部へ**と引き込みます。



06 北門・既存の二つの流れ

現在閉鎖されている北門が将来的に開放される際には、入口に設けたステンレスの額縁というデザインコードが、休憩スペースとトイレの存在を庭園側からも際立たせ、**来園者の動線を自然と引き込む**役割を果たします。本提案は、**北門が閉鎖されたままの現状においても、また将来的に再び開放された場合においても成立**するよう計画しており、庭園への玄関口としても、回遊コースの一部としても機能するデザインです。



07 トイレ計画

トイレは既存よりゆとりを持った設計とし、入り口のデザインは**休憩室と同じアルミの入り口**として統一感を出し三色のラインとピクトグラムで視認性を高め、**内部は清潔さ、コストパフォーマンスを重視**しメラミン化粧パネル、ビニールクロスを使用しています。

